

< 第一会場 >

2015年1月9日(金) 第一会場(山形大学農学部)

【5題】 司会:佐藤翔輔		
13:00-13:15	日本列島全域を対象とした土石流危険渓流のポテンシャル評価	○伊藤圭祐(福島大学共生システム理工学研究科), 若林初美・川越清樹(福島大学共生システム理工学類)
13:15-13:30	仙台市における現行の防災計画から見た避難者数推定と避難所の評価	○木村宇応(東北大学工学部社会環境工学科), 佐藤健(東北大学災害科学国際研究所)
13:30-13:45	東日本大震災時の仙台市における避難者の発生要因に関する研究	○谷端勇紀(東北大学大学院工学研究科), 佐藤健(東北大学災害科学国際研究所)
13:45-14:00	仙台市の自主防災組織の地震災害対応力推移	○夫馬千尋(東北大学工学部建築社会環境工学科), 佐藤健(東北大学災害科学国際研究所)
14:00-14:15	東日本大震災の発生から3年間の被災者の心情—宮城県の被災者を対象にした東北大・河北新報合同継続調査から—	○佐藤翔輔・今村文彦(東北大学災害科学国際研究所)
14:15-14:30	休憩	
14:30-17:00	シンポジウム(山大農学部3号館301講義室)	
17:30-19:30	懇親会	

2015年1月10日(土) 第一会場(山形大学農学部)

9:00-10:00	総会	
【8題】 司会:日野亮太		
10:00-10:15	2004年スマトラ地震津波被災地域および2013年台風ハイエン被災地域への出前授業実施速報	○保田真理, 今村文彦, サッパシー・アナワット, 野内類, イ・ケリョン(東北大学災害科学国際研究所)
10:15-10:30	2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動	○飯沼卓史・日野亮太・木戸元之(東北大学災害科学国際研究所), 長田幸仁・富田史章・太田雄策・三浦 哲(東北大学大学院理学研究科)
10:30-10:45	地殻変動観測を応用した津波即時予測の試み	○日野亮太・木戸元之・飯沼卓史(東北大学災害科学国際研究所)・太田雄策・久保田達矢・今野美芽(東北大学理学研究科)
10:45-11:00	秋田県森吉山で発生している誘発地震の後続波	小菅正裕(弘前大学理工学研究科)
11:00-11:15	東北地方太平洋沖で発生した地震による近地sP波の振幅分布	○加藤 爽・小菅正裕(弘前大学理工学研究科)
11:15-11:30	2011年4月1日に秋田県北部で起きた地震の地震動評価用震源モデル	○片岡俊一(弘前大学), 福元俊一(地震地盤研究所)
11:30-11:45	830年天長地震について	○野越三雄(秋田大学地域創生センター), 王寺秀介(中央開発株式会社)
11:45-12:00	台風1330号(Haiyan)によるフィリピン・レイテ島の人・建物被害の定量的評価	○加藤圭悟(東北大学工学部建築・社会環境工学科), 呉修一・有働恵子・真野明(東北大学災害科学国際研究所)
12:00-13:00	昼食	
【8題】 司会:村山良之		
13:00-13:15	山形大学の教員養成における学校防災教育—教職大学院と地域教育文化学部—	村山良之(山形大学大学院教育実践研究科)
13:15-13:30	高校における学習単元「災害と古典」の実践と課題—『方丈記』の「大地震(おほなゐ)」を用いて	中條芳彦(山形大学大学院教育実践研究科, 山形県立上山明新館高等学校)
13:30-13:45	探究的な学習としての「防災マップづくり」の取り組み	秋場淳(山形大学大学院教育実践研究科, 山形県三川町立東郷小学校)
13:45-14:00	ハザードマップを活用した小学校の防災教育の授業実践	笠原慎一郎(山形大学大学院教育実践研究科, 宮城県富谷町立日吉台小学校)
14:00-14:15	通学班を活用した小学校の防災教育の授業実践	黒原裕一(山形大学大学院教育実践研究科, 山形市立第三小学校)
14:15-14:30	Analysis on morphological recovery of tsunami-induced concave shoreline	○Vo Cong Hoang, 田中 仁(東北大学大学院工学研究科), 三戸部佑太(東北大学大学院工学研究科)
14:30-14:45	津波による離岸堤周辺の沿岸漂砂環境変化	○森文章, 三戸部佑太, 田中仁(東北大学大学院工学研究科)
14:45-15:00	組み合わせ最適化手法を利用した歴史津波の波源推定法 —1611年慶長奥州地震の事例—	○今井健太郎(東北大学災害科学国際研究所), 前田拓人(東京大学地震研究所), 飯沼卓史・蝦名佑一・菅原大助・今村文彦(東北大学災害科学国際研究所), 平川新(宮城学院女子大学)
15:00-15:15	休憩	
【8題】 司会:今井健太郎		
15:15-15:30	Pre- and post-tsunami morphology changes on Kodanohama Beach	○Hoang Dong Hai(Thuyloi University), 三戸部佑太・Vo Cong Hoang(東北大学大学院工学研究科), Nguyen Trung Viet(Thuyloi University), 田中 仁(東北大学大学院工学研究科)
15:30-15:45	TerraSAR-Xによる津波被災地の建物被害半自動推計手法の検討	○郷右近英臣(東北大学大学院工学研究科), 越村俊一(東北大学災害科学国際研究所), 松岡昌志(東京工業大学大学院総合理工学研究科)
15:45-16:00	北上川を対象とした河川遡上津波の数値計算	○青山恭尚(東北大学), Mohammad Bagus Adityawan・三戸部佑太・田中仁(東北大学工学研究科)
16:00-16:15	ALOS/PRISM画像を用いたDSM作成とその特性に関する研究	○武田百合子・有働恵子(災害科学国際研究所)
16:15-16:30	島嶼を有する湾における津波高の概算法 —松島湾を例に—	松富英夫(秋田大学大学院工学資源学研究科)
16:30-16:45	津波痕跡高分布を用いた波源推定における断層分割の影響	○堀内滋人(東北大学工学研究科), 今井健太郎・今村文彦(東北大学災害科学国際研究所)
16:45-17:00	津波ピッチャー解析による2011年東北津波の氾濫流況の把握	○林里美(東北大学工学研究科), 越村俊一(東北大学災害科学国際研究所)
17:00-17:15	東北地方太平洋沖地震以後の蔵王山の火山活動	○山本 希・三浦 哲・市來雅啓(東北大学地震・噴火予知研究観測センター)